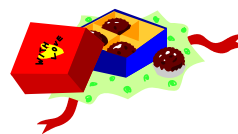


## 秋視協便り 2019年冬号



~~ 共生社会の実現をめざして ~~



発行 一般社団法人秋田県視覚障害者福祉協会  
平成31年 2月10日

発行責任者 会長 武田 利美

事務局 〒010-0922 秋田市旭北栄町1-5

電話 018-864-2783

FAX 018-864-2785

E mail : akisikyou@mub.biglobe.ne.jp(事務局)

ホームページアドレス <http://www.akisikyou.jp>

### 心新たに

会長 武田 利美

秋田県視覚障害者福祉協会は1959年に創立され、今年で創立60周年の節目を迎えます。

視覚障害者の福祉向上のために尽力された先人たちの思いにも学びながら、心新たに全ての人々が障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重しあう真の共生社会実現のために活動を継続して行きたいと思えます。

今後とも皆様方のご理解、ご支援、ご協力を賜るよう宜しくお願い致します。

### 実施事業・話題

#### ◆自らの技術のスキルアップを図る！

8月26日(日)、県心身障害者総合福祉センターを会場に、筑波大学理療科教員養成施設の徳竹忠司先生を講師としてお招きし、「応用トリガーポイント 鍼・手技療法 ～鎮痛のために～」をテーマに三療講習会を開催しました。

講習会では、第1部にトリガーポイントとは何かを中心に講習を、第2部ではトリガーポイントの場所や誘発の仕方など実技で実践していただきました。

#### ◆全国盲女性研修大会に参加

8月31日(金)から9月2日(日)の3日間、日盲連結成70周年記念・第64回全国盲女性研修大会が、島根県松江市の県民会館を主会場に開催されました。

2日目午前の全国代表者会議の冒頭、日盲連 竹下会長は、行政の障害者雇用水増

し問題は共生社会を拒否していると思えない。なお一層各機関に働きかけて、障害者が安全に暮らせるようにがんばりましょうとの挨拶がありました。

会議では、平成29年度の事業報告・決算・監査報告、平成30年度の運動方針・事業計画・予算を始め、10議題について話し合い、一部次回までの検討を含め承認されました。

午後の研修会の第一部は、落語家(元医師)の春雨や落雷師匠による「目黒の秋刀魚」の熱演があり、後半は健康講話として「笑うことにより免疫力が高まり健康を保てる」と、笑い方を学びました。

また、第3部では「日頃差別を受けたことがありますか？感じたことがありますか？」とのテーマで、レポート発表と意見交換がありました。タクシーの運転手のモラルを取り上げた例や、職場での辛い体験、母親との確執にまだわだかまりを拭えずにいる悩みを上げた人などの発表を聞きました。特に母親に対する思いや意見で盛り上がりました。

その後開かれた交流会の席上で、あはき19条裁判カンパ活動が行われ、15万3005円が寄せられました。

来年は名古屋で8月26日(月)から28日(水)まで開催されます。

#### ◆グラウンドゴルフ教室を開催

9月16日(日)、秋田県健康増進センター「ユフォーレ」で、グラウンドゴルフ教室が行われました。

プレーでは、視覚に障害があるので、目標のゲートを声や手ばたきで教えてもらい、それに向かってボールをたたくのですが、なかなかうまくいきません。何度も行ったり来たりを繰り返して、やっとの思いでゴールイン。かなり歩きました。

白熱したプレーの後は、皆でお待ちかねのバーベキューを楽しみながら、プレーの反省会をしました。その後お風呂を楽しみ、帰路に着きました。

#### ◆全国盲青年研修大会に参加

9月16日(日)、17日(月)の2日間に渡り、日盲連結成70周年記念第64回全国盲青年研修大会が奈良県橿原市を会場に開催されました。

1日目は、代表者会議が行われ、提出された議題が全て承認されました。

また、「中央省庁をはじめとする各行政機関における障害者雇用水増しに関する特別決議」が満場一致で採択されました。

#### ●中央省庁をはじめとする各行政機関における障害者雇用水増しに関する特別決議

私たちは障害者雇用促進のため3つの要望をします。

1. 障害当事者を含む中立的な第三者委員会により今回生じた原因を究明し再発防止の具体的な対策を要望する。

2. 早急な雇用を達成するように、重度視覚障害者を始めとする障害者を、各行政

で積極的に雇用するよう求める。

3. 障害者が、公務員として充実した職業生活が送られるよう、各職場に合理的配慮と提供を徹底するよう求める。

その後分科会が行われ、第一分科会は交通問題、第二分科会はバリアフリー・日常生活、第三分科会は職業問題・その他の三つに分かれて活発な意見交換がおこなわれました。

その結果、来年の札幌市での福祉大会に、次の3つの議案を提出することが決議されました。

1. 視覚障害者のスムーズな移動を実現するために、交通機関同士のさらなる連携を要望する。

2. ネットバンキングやネットショッピングサイト等のセキュリティーが強化されたサイトへのログイン認証を視覚障害者が単独で容易に行えるよう配慮を要望する。

3. 利用者家族へのサービス提供が原則禁止されている同行援護制度、家事援助制度を見直し、子育て中の視覚障害者が、ヘルパー等による十分な支援を受けながら子育てができる制度の整備を要望する。

その後、懇親会にて全国の方々との交流を図り、1日目は終了しました。

2日目は、奈良の歴史と文化を楽しむ研修会と記念式典などを行い、奈良大会は終了しました。

来年は、三重県津市で9月22日(日)、23日(月)に開催の予定です。

#### ◆盲導犬との歩行を体験

9月23日(日)、盲導犬の実体験と説明会が県心身障害者総合福祉センター3階会議室にて開催されました。

盲導犬を持ってみたい視覚障害者や、小学生など多くの方々が盲導犬との歩行を体験しました。

体験後の小学生の感想では、「見えない状態で歩くのは不安だったが、盲導犬のおかげで安心して進めた」との声が聞かれました。

#### ◆県内各地域の代表者、会員を対象にリーダー研修会を開催

9月29日(土)、リーダー研修会が県心身障害者総合福祉センター3階ボランティアルームにて開催されました。

毎年、日本各地で災害が発生しておりますが、東日本大震災から数年の時間がたつて、年々防災意識が希薄になりつつあります。改めて防災意識を持つ意味で、災害時の対応について研修をおこないました。

日本赤十字社から講師をお迎えし、災害時の注意点、防災袋の中身についての説明、防災食の試食などを行いました。

視覚障害者が災害にあったとき、ともかく救助を待つのが最善。そしてあらかじめ防災袋を準備することがとても大事との講師のお話がありました。

そして、防災袋は、個人個人で必要な物が違うので、市販されている防災袋の中身を中心に、自分に合った防災袋を用意することが必要だとのアドバイスがありました。

#### ◆秋視協文化祭が盛大に開催される

9月30日（日）、秋視協わくわく文化祭が、秋田県社会福祉会館10階大会議室、9階第3会議室を会場に開催されました。

恒例の文芸作品の発表、講演会、午後の会員によるアトラクション、青年部によるフードコーナーなど盛りだくさんな一日でした。

また、当日は秋田県点字図書館による視覚障害者情報機器と日常生活用具展示会も同時開催されました。

今年は初めての試みとして「点字プチ体験コーナー」もあり、来場した方々に自分の点字の名刺を作成してもらい、点字について理解を深めてもらいました。

講演会では、「おしゃべりは心の栄養！」とのテーマで、元ABS秋田放送アナウンサーの佐藤美知子さんが、障害や病気を持っている人たちも苦悩を乗り越え、楽しみを見つけそれぞれの場で生き生きと頑張っている。そんな人たちに元気をもらい、心の栄養としてきた。いつも心に太陽を！という言葉をつぶやき、暗いことは考えず乗り越えてきたことなどをお話してくださいました。

#### ◆「桜井記念」手でみる博物館見学とわんこそば体験を実施

10月7日（日）、あいにくの台風25号の影響で、すこし風が強い中、会員を乗せて盛岡へと向かいました。

「桜井記念」手でみる博物館は、盛岡市の郊外に位置し、住宅地の中にあります。館内では、魚類や鳥類の骨や模型、飛行機のタイヤなど初めて手で触れる物ばかりで、形や触感に驚きました。

まさに、「百聞は一見にしかず」、いやいや「百聞は一触にしかず」でありました。

わんこそば体験では、次々とお椀に入れられるそばに悪戦苦闘。参加者の中には100杯近くをたிரらげた方もいました。

#### ◆福井しあわせ元気大会に会員が出場

10月13日（土）から15日（月）の3日間、福井県で開催された第18回全国障害者スポーツ大会・福井しあわせ元気大会に、秋田県陸上競技選手として秋田市の会員、小松由佳さんが出場しました。

前日の雨の影響で、競技当日は少しコンディションが悪い中、100メートル走で金メダル、走幅跳で銀メダルを獲得しました。

#### ◆東北盲人福祉大会、秋田で開催

10月28日（日）・29日（月）、第57回東北盲人福祉大会秋田大会が、東北各地より当事者及びその関係者など約160名が参加し、秋田市のホテルメトロポリ

タン秋田で開催されました。

1日目は役員会・青年協議会及び女性協議会・代議員会と研修会、情報交換会が行われました。

2日目の日本盲人会連合竹下義樹会長による基調講演では、「視覚障害者福祉の現状と課題」をテーマに今後私たちが進むべき方向を示されました。

続く福祉大会では東北盲人会連合の及川清隆会長より「東北の視覚障害者福祉向上のためには組織が強固でなければならない。共に力を合わせて行こう」との挨拶の後、大会宣言・決議が満場の拍手で承認され、大会は終了しました。

なお、福祉大会の会場内では、あはき19条裁判募金が行われ、50151円の暖かい支援がありました。

この大会を開催するにあたっては、共同募金会や関係機関・ボランティア、そして会員の皆様方より多くのご支援ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

次回58回大会は2019年11月4日(月)・5日(火)の両日山形市で開催されます。

#### ◆あん摩師等法19条を守る全国決起集会仙台大会に参加

11月11日(日)、仙台市のアパホテルTKP仙台駅北を会場に、「共有しよう！視覚障害者の現状を！ 学び合おう！先人たちの智慧を！ 目指そう！差別なき社会を！ 絶対守ろう！あはき等法19条を！」をスローガンに、東北各地より250余名が参集し、あん摩師等法19条を守る全国決起集会仙台大会が開催されました。

大会冒頭、あはき等法19条を守る東北協議会及川会長は「福島医療専門学校があんまマッサージ指圧師・はり師・きゅう師等法19条は違憲だとし、仙台地裁に提訴した事態に対し、国が勝訴するよう裁判傍聴活動や集会活動を展開してきました。私たち視覚障害者は、あはき法のおかげで世界に類例のない社会的自立と、自分らしい夢と希望が持てる人生を歩むことができます。どうか最後まで私たち視覚障害者の思いをお聞きいただき、今後ともあはき訴訟に対するご支援とご協力をお願い申し上げます」とあいさつされました。

続く視覚障害マッサージ師の体験発表や支援者からの応援メッセージに対しては、会場から賛同の大きな拍手が送られました。

#### ◆大館地区視覚障害者更生相談会を開催

11月25日(日)、大館市総合福祉センターにおいて大館地区の協力をいただき、視覚障害者更生相談会が開催されました。

参加者は、ボランティアや関係者などを含み15名。

大館市障害福祉担当職員2名から、福祉の現状についての講話があり、その中で、大館市においては障害者がいつでも立ち寄ることができ、話し合いができる場所の設置を予定しているとのことで、関心を寄せるところでした。

また、当協会のホームページを見て相談会に参加していただいた、函館視力障害セ

ンター職員の佐々木氏にも、視覚障害者の現状や日常生活用具の現状などを紹介してもらいました。

座談会では、最近視力が落ちてきて、家族にもわかってもらえず、どこかに話をするとところがないものかと悩んでおられた方も出席されており、熱心に相談を受けていました。

#### ◆スマートフォン講習会を開催

11月18日(日)、11月25日(日)、12月2日(日)の3日間。今年度は、iPhoneを持っていない初心者から、iPhoneを使っているけれど中々うまく操作ができない方などを対象に実施しました。

講習会ではiPhoneの外観、各部の働き、電源の入れ方から始まり、Siriを使った電話のかけ方やメッセージの送り方、電話の簡単な受け方、切り方、そして文字入力などを講習しました。

あのツルツルした画面に皆さん悪戦苦闘。特に文字入力の際は中々うまくいかずにやきもきしている方も多かったようです。

今後も引き続きiPhoneを持ちたいと考えている方、使い方が中々うまくいかない方を対象に講習会を継続していく予定です。

#### 編集後記

視覚に障害があるために、自由に外出をして用事をすませる、手紙を書いたり、読みたい本を読むなどの行為が思うようにならないということで、悩み、いらだち、孤独に陥っておられる方々に、私たちの団体「秋田県視覚障害者福祉協会」への入会をお勧めしています。

秋田県視覚障害者福祉協会は、「視覚障害者に対する社会の認識と理解を深め、そしてひとりひとりの視覚障害者の人間としての権利が保障される」という願いのもとに活動しています。

お近くで視覚障害でお悩み・お困りの方がおられましたら、ご紹介お願い致します。

また、秋田県版スマートサイト（ロービジョンケアを受けることができる施設等の紹介サイト）が2年前より開設されました。

当協会のホームページでも、スマートサイトの情報が掲載しており、またリーフレットもダウンロード出来ますので、ぜひご活用ください。

#### ダウンロード先

一般社団法人秋田県視覚障害者福祉協会 情報室

<http://www.akisikyuu.jp/joho.html>